

PCAPS 研究会・QMS-H 研究会合同シンポジウム
医療への質マネジメントアプローチ

平成 26 年度最終成果報告

PCAPS 研究会
PCAPS の実装・臨床分析・社会システム構築

プログラム

日時：2015 年 2 月 28 日（土） 10:00～17:30 終了予定

会場：東京大学（本郷キャンパス）工学部 2 号館 213 号室

患者状態適応型パス[PCAPS(ピーキャップス):Patient Condition Adaptive Path System]は、臨床知識の構造化と、知識の再利用を支援します。PCAPS 研究では、医療の質安全保証の実現のために、品質管理工学における標準化とプロセス管理の概念を投入し、医療サービスという無形の対象の臨床プロセスを、可視化、構造化、標準化、IT 化していきました。PCAPS 研究会では、「患者状態適応型」という医療サービスの特性を表現する構造モデルを適用して構造化臨床知識コンテンツを医療の領域毎に開発し、臨床実践における当該知識コンテンツを再利用するための方法論を開発しています。

H26 年度の成果は、①実運用への適用(異なるタイプの 4 病院実装モデル)と新たな知識の獲得へ向けたデータ蓄積、②臨床分析実施コンテンツの広がり、③開発したがん診療体制質評価手法による病院や地域の PDCA サイクル実現可能性、④診療ガイドラインの活用や評価改善を進める PCAPS、⑤社会システム構築に向けた地域保健医療システム構築への活動開始、です。

研究メンバーは、PCAPS の社会実装によって、医療の質を享受できる社会にしたいと考えています。本シンポジウムにぜひ参加していただき、意見交換をお願いいたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

PCAPS 研究会 代表：水流聡子
顧問：飯塚悦功
アドバイザー：棟近雅彦

主催：東京大学大学院工学系研究科 医療社会システム工学寄付講座

共催：PCAPS 研究会、QMS-H 研究会、(社)日本品質管理学会 (JSQC) 医療の質・安全部会

後援：PCAPS-IMT コンソーシアム

研究助成：平成 26 年度厚生労働科研地域医療基盤開発推進研究事業 (中山班)

平成 26 年度科学研究費助成事業 基盤研究(B) (作田班)

司会：加藤省吾（東京大学）・下野僚子（東京大学）

午前の部

10:00-10:05

I：統括報告

水流聡子（東京大学）

10:05-12:05(各 15 分)

II：PCAPS 実装機能の進化と実際

- ・ 聖マリア病院での PCAPS 導入 荒木昭輝(聖マリア病院)
- ・ 聖マリア病院での PCAPS 運用(リハビリテーション) 中島栄子(聖マリア病院)
- ・ 禎心会病院での PCAPS 実装 伊東敏弘(禎心会病院)
- ・ 飯塚病院 PCAPS 眼科手術トライアルの結果 植原純(飯塚病院手術室)
- ・ 療養型・回復期病棟の PCAPS 実装 進藤晃(大久野病院)
- ・ 周産期領域の PCAPS 実装 田野翔・吉原雅人(トヨタ記念病院)
- ・ 在宅看護での PCAPS 実装 山崎潤子(緑が丘訪問看護ステーション)

12:05-13:05 昼休み(60分)

午後の部

13:05-13:45(各 20 分)

III：PCAPS コンテンツ開発と臨床分析

- ・ 褥瘡 黒木ひろみ(聖路加国際病院)
- ・ 呼吸器内科：市中肺炎・喘息発作 中岡大士・蝶名林直彦(聖路加国際病院)

13:45-14:45

IV：パネルディスカッション：「がん医療質向上のための PDCA サイクル構築」

～がん医療における組織的改善活動～

- ・ パネルリーダー：若尾文彦(国立がん研究センター)・水流聡子(東京大学)
- ・ パネリスト：飯塚悦功(東京大学)、名取良弘(飯塚病院)、青儀健二郎(四国がんセンター)、
羽藤慎二(四国がんセンター)、吉岡慎一(兵庫県立西宮病院)、尾嶋仁(群馬県立がんセンター)、
小口秀紀(トヨタ記念病院)、秋山聖子(仙台医療センター)

休憩(15分)

『医療の質安全保証に向けた臨床知識の構造化（4）』

患者状態適応型パス [PCAPS の活用と臨床分析] (日本規格協会) 本体価格：5,500 円

水流聡子・飯塚悦功・棟近雅彦監修 患者状態適応型パスシステム研究会編著



15:00-16:00(紹介:各5~10分、ディスカッション:25分)

V: パネルディスカッション:PCAPS と診療ガイドライン

- ・ パネルリーダー:中山健夫(京都大学)
- ・ パネリスト:(各領域のガイドライン活用の紹介)
 - ガイドラインの開発に関する国際動向・国内動向 中山健夫(京都大学)
 - 心血管系動脈硬化症管理 盛重邦雄(聖マリア病院)
 - 小児科 川崎病 藤原優子(慈恵医大附属病院)
 - COPD 急性増悪時の薬剤使用法 茂木孝(日本医科大学呼吸ケアクリニック)
 - がん手術とリンパ浮腫 北村薫(ナグモクリニック福岡)

16:00-16:15(15分)

VI:連携システム・地域保健医療介護システムの構築

- ・ 小児地域保健医療システムの構築 本木隆規(慈恵医大第三病院)

~~~~~

#### ポスターセッション準備(10分)

~~~~~

16:25-17:25

VII:臨床知識の構造化:ポスターセッション(ラウンド形式, 1領域質疑込 10分)

※ポスターセッション会場は、会場を出た廊下になります。座長の方・発表者は開始 10 分前にはお集まりください。

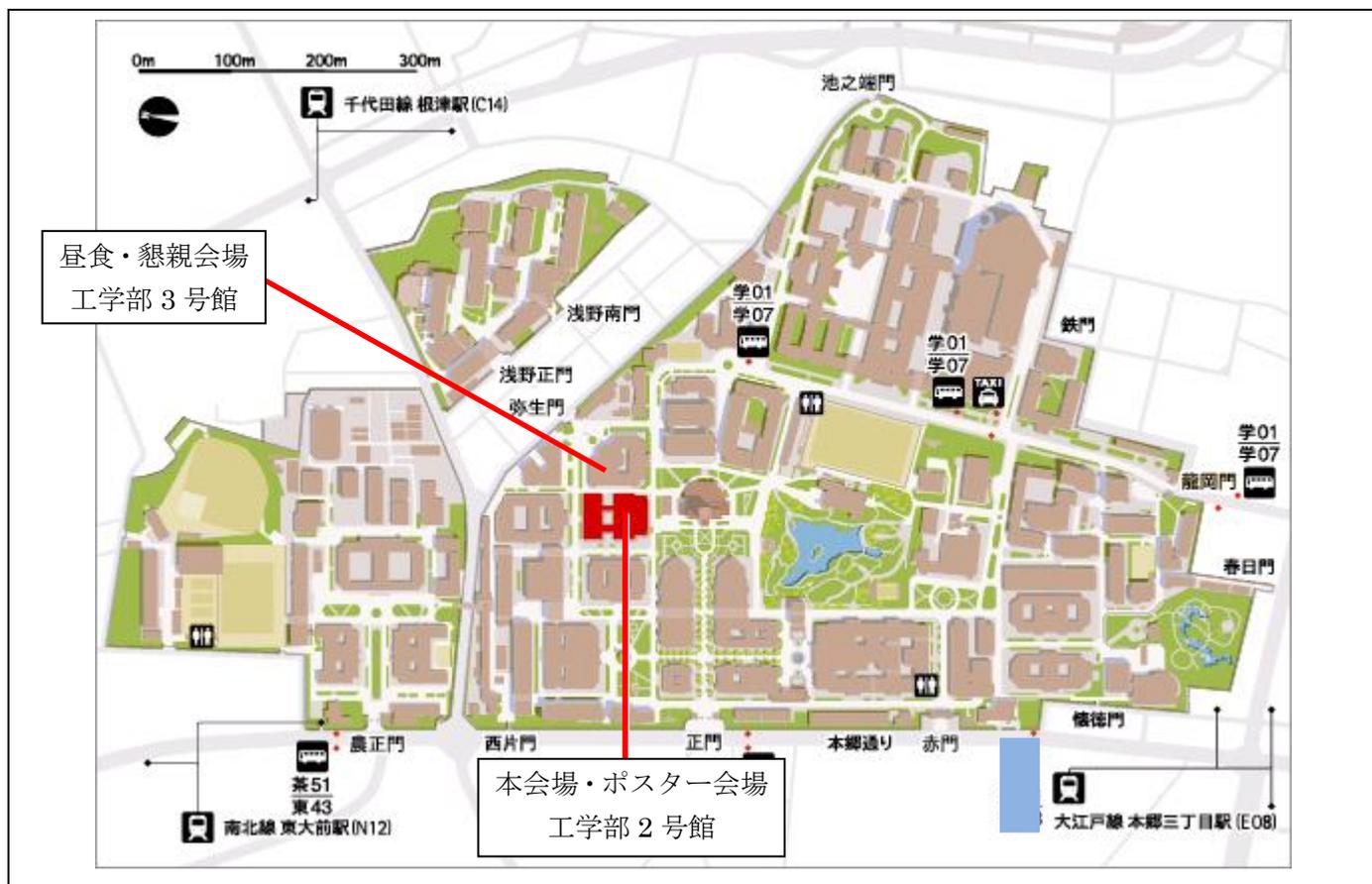
ストリーム I 座長:蝶名林直彦(聖路加国際病院)	
・手術:外来(日帰り)手術における PCAPS の適用	成松慧(飯塚病院手術室)
・呼吸器内科:COPD 増悪入院コンテンツ CPC 検証調査速報	茂木孝(日本医科大学呼吸ケアクリニック) ・堀江健夫(前橋赤十字病院)
・在宅酸素:在宅酸素療法の導入・管理	若林律子(東海大学)
・認知症:認知症患者-家族介護者間の睡眠分析に基づく在宅介護の状態評価手法の開発	吉田晴貴(東京大学)
・精神科:PCAPS 精神科コンテンツにおける PDCA サイクル	中西清晃・東川貞男・竹澤翔(石川県立高松病院)
ストリーム II 座長:藤原優子(慈恵医大附属病院)	
・呼吸器内科:喘息発作・市中肺炎	尾崎和音・千々輪香織・内山真木子(聖路加国際病院)
・栄養:栄養食事コンテンツの進捗報告	長谷川由美(新東京病院)
・看護:看護ナビコンテンツとクリニカルパスとの比較調査から見えてきたもの	梶原優子・須藤久美子・森山由香・渡邊恵里子・西田ひとみ・長岡由起・ 倉智恵美子・佐野美和子・田村美恵・緒方博美(飯塚病院)
・服薬指導:喘息・COPD における吸入指導	田窪真行・植田恵子(スギ薬局)
・小児科:教育機関における成長障害の早期発見および問題分析のための手法構築	仮屋崎真希(東京大学)
ストリーム III 座長:名取良弘(飯塚病院)	
・がん質評価指標:がん診療体制 PDCA サイクル実現のための評価・分析手法の開発	太田耕右(東京大学)
・患者班:患者視点を反映した患者説明に関する研究	松本陽子(愛媛がんサポートおれんじの会) ・天野慎介(グループ・ネクサス・ジャパン)
・リハビリ1:P T, O T 領域の取り組み	大塚渉(聖マリア病院)
・リハビリ2:基本動作獲得過程の設計	小嶋純平(東京大学)
・リハビリ3:嚥下コンテンツのデモ	中島栄子(聖マリア病院)

17:25-17:30

VIII:講評

顧問

飯塚悦功(東京大学)



【シンポジウム会場】

本会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室

ポスター会場：東京大学本郷キャンパス工学部2号館213号室の廊下

研究会メンバー用昼食会場：工学部3号館5階 5A02号室・5A04号室・5A05号室・5A11号室

研究会メンバー・関係者用懇親会会場：工学部3号館6階6C06号室

シンポジウム運営組織

代表	水流聡子（東京大学）	
アドバイザー	棟近雅彦（早稲田大学）	
顧問	飯塚悦功（東京大学）	
運営 スタッフ	<p><PCAPS事務局></p> <p>加藤省吾（東京大学） 下野僚子（東京大学） 大森美保（東京大学） 谷崎浩一（東京大学） 佐藤典子（東京大学）</p>	<p><学生スタッフ></p> <p>太田耕右（東京大学修士課程） 高尾璃加（東京大学修士課程） 仮屋崎真希（東京大学工学部） 小嶋純平（東京大学工学部） 吉田晴貴（東京大学工学部）</p>

問い合わせ先：

PCAPS事務局

E-mail：Office_PCAPS@umin.ac.jp

TEL：03-5841-7301 FAX：03-5841-7276

本研究事業 HP：<http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/index.html>

注意：カメラ撮影はご遠慮ください。PCAPSは各種特許申請済みです。